

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date:

言語社会専攻長

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Language and Society

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア III 准教授
氏名 Name	長崎広子
専門分野 Academic Field	中世ヒンディー文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	バクティ文学研究とヒンディー詩論書の研究
<p>① 2016年2月26日から3月9日までインドで現地調査を行い、ヒンディー詩論書写本の閲覧および書きおこしの作業を行った。Sukhdev Misra の Pingala(18c.) というヒンディー詩論書について、Gaya の写本の書きおこし作業を完成させ、Nagari Pracarini Sabha の写本はマートルー韻律部分まで書きおこしを行った。</p> <p>② 写本の調査：Ramasahay 著 Vrttatarangini (1815) と Jani Biharilal 著 Chandprabhakarapingala (1889) の写本調査を Nagari Pracarini Sabha にて行った。なお、Ramasahay の写本は完本が実在しないことが分かった。</p> <p>③ ローザンヌ大学で開催された the 12th International Conference on Early Modern Literatures in North India にて Metrical Style of Tulsidas と題して研究発表を行った。</p> <p>④ 昨年度に引き続き、ベニー・マーダオ・ダース著『上人伝要解』の後半部分を翻訳、解説し、『印度民俗研究』で発表した。</p> <p>⑤ 現代ヒンディー文学作品の翻訳を行い、発表した。</p>	